

bizhub C3100P

すぐに使える簡単設定ガイド



目次

- 1. はじめに
- 2. 本機の概要
- 3. 用紙のセット方法
- 4. 本機の初期設定
- 5. 基本的な使い方
- 6. 索引

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。

もくじ

1 はじめに

1.1	ご挨拶	1-2
1.2	マニュアル体系について	1-2
	冊子マニュアル	1-2
	User's Guide CD-ROM 収録のユーザーズガイド	1-2
1.3	User's Guide CD-ROM について	1-3
1.3.1	動作環境	1-3
1.3.2	トップページの表示のしかた	1-3
	Windows をお使いの場合	1-3
	Mac OS をお使いの場合	1-3
1.4	本文中の表記や記号について	1-4
	手順文について	1-4
	本文中の記号について	1-4
	製品やキーの名称について	1-4
	アプリケーション名の表記について	1-4

2 本機の概要

2.1	本機について	2-2
2.1.1	各部の名前	2-2
	前面	2-2
	背面	2-3
2.1.2	オプションの構成	2-4
2.2	電源について	2-5
2.2.1	電源スイッチ／電源キーの場所	2-5
2.2.2	電源スイッチを ON/OFF する	2-6
2.2.3	電源キーを使う	2-7
2.3	操作パネルについて	2-8
	ジョブを削除する	2-9
2.4	画面の構成	2-10
2.4.1	メッセージウィンドウの表示について	2-10
2.4.2	ヘルプ画面について	2-10

3 用紙のセット方法

3.1	用紙について	3-2
3.1.1	対応する用紙の種類を確認する	3-2
3.1.2	対応する用紙サイズを確認する	3-3
3.1.3	使用上のご注意	3-4
	使用できない用紙	3-4
	用紙の保管のしかた	3-4
3.2	手差しトレイにセットする	3-5
3.3	トレイ 1 にセットする	3-7

4 本機の初期設定

4.1	ネットワーク接続の準備（管理者向け）	4-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	4-2
	IP アドレスを割当てる	4-2
4.2	ハードディスク（HDD）の設定（管理者向け）	4-3

5 基本的な使い方

5.1	プリント機能を使う (Windows 環境の場合)	5-2
5.1.1	プリンタードライバーについて	5-2
5.1.2	印刷の準備 (ネットワーク接続)	5-2
	LAN ケーブルの接続を確認する	5-2
	ネットワーク設定を確認する	5-2
	プリンタードライバーをインストールする	5-3
5.1.3	印刷の準備 (USB 接続)	5-5
	インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/ Server 2012 R2)	5-5
	プリンタードライバーをインストールする	5-6
5.1.4	プリンタードライバーの初期設定	5-8
5.1.5	印刷のしかた	5-9
5.2	USB メモリー内のファイルを印刷する	5-10
	対応する USB メモリー	5-10
	印刷のしかた	5-10

6 索引

1

はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。詳しい機能や、操作方法をお知りになりたいときは、User's Guide CD-ROM に収録されているユーザーズガイドをごらんください。

本製品を安全にお使いいただくために、ご使用の前に [セーフティインフォメーションガイド] を必ずお読みください。

1.2 マニュアル体系について

冊子マニュアル

マニュアルの名称	概要
[インストレーションガイド]	本機の設置やプリンタードライバーのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
[すぐに使える簡単設定ガイド] (本書)	本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。
[セーフティインフォメーションガイド]	本製品をお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しております。 製品のご使用前に必ずお読みください。

User's Guide CD-ROM 収録のユーザーズガイド

マニュアルの名称	概要
[ユーザーズガイド はじめにお読みください]	本機の各部の名前、電源の ON/OFF、操作パネルの使い方、原稿／用紙のセット方法など、はじめに知っておいていただきたいことを説明しています。
[ユーザーズガイド プリント機能編]	プリンタードライバーのインストールから、基本／応用の使い方を説明しています。
[ユーザーズガイド 拡張機能編]	オプションのライセンスキットの導入方法およびライセンスキットを導入することでご利用いただける機能について説明しています。
[ユーザーズガイド メンテナンス／トラブルシューティング]	消耗品の交換や、本機のお手入れのしかた、トラブルの対処方法を説明しています。
[ユーザーズガイド 設定キーの説明]	装置の設定メニューの設定内容を説明しています。
[ユーザーズガイド 応用機能編]	Web Connection の使い方や、プリンタードライバーの手動インストール、Linux での印刷設定、認証装置の使い方など、本機の特殊な使い方を説明しています。

1.3 User's Guide CD-ROM について

User's Guide CD-ROM は、本機に同梱されています。CD-ROM には、本機をご利用いただく際に必要なユーザーズガイドが収録されています。

トップページから、見たいユーザーズガイドのボタンをクリックしてください。ユーザーズガイドの PDF ファイルが立ち上がります。

1.3.1 動作環境

項目	説明
対応 OS	Microsoft Windows Vista (SP2) / Windows 7 (SP1) / Windows 8 / Windows 8.1 Apple Mac OS X 10.6/10.7/10.8/10.9
対応ブラウザー [*]	Windows の場合 <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 7.x/8.x/9.x/10.x (デスクトップ版)/11.x (デスクトップ版) Firefox 18 以降 Mac OS の場合 <ul style="list-style-type: none"> Safari 4.x/5.x/6.x/7.x
必要なアプリケーション	Windows の場合 <ul style="list-style-type: none"> Adobe Reader 9.x/10.x/11.x Mac OS の場合 <ul style="list-style-type: none"> Adobe Reader 8.x/9.x/10.x/11.x
ディスプレイの解像度	1024 × 768 ピクセル以上

^{*} JavaScript が有効になっていること

1.3.2 トップページの表示のしかた

Windows をお使いの場合

Windows Vista/7 は、コンピューターの CD-ROM ドライブに CD を入れると自動再生に関するメッセージが表示されます。[rundll32.exe] をクリックすると、トップページが表示されます。

Windows 8/8.1 は、コンピューターの CD-ROM ドライブに CD を入れると、ディスクに対して行う操作を選択するようにメッセージが表示されます。[index_win.exe] をクリックすると、トップページが表示されます。

Mac OS をお使いの場合

デスクトップ上の CD アイコン、[index.html] の順にダブルクリックするとトップページが表示されます。

1.4 本文中の表記や記号について

手順文について

✓ このチェック記号は、手順の前提となる条件を説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

本文中の記号について

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。



参考

トピックを補足する情報や、機能を使うために必要なオプションについて説明しています。



参照

トピックに関連した機能を参照できます。



関連設定

トピックに関連したどなたでも変更できる設定を紹介しています。



関連設定 (管理者向け)

トピックに関連した管理者向けの設定を紹介しています。

製品やキーの名称について

本文中の表記	説明
[]	メッセージウィンドウのキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。
太字	操作パネルのキー名称、部品名称、製品名称、オプション名称などを表します。

アプリケーション名の表記について

本書では、アプリケーション名を以下のように表記しています。

アプリケーション名	本書の表記
PageScope Direct Print	Direct Print
PageScope Web Connection	Web Connection
PageScope Data Administrator	Data Administrator
PageScope Mobile (for iPhone/iPad/Android)	Mobile (for iPhone/iPad/Android)

2

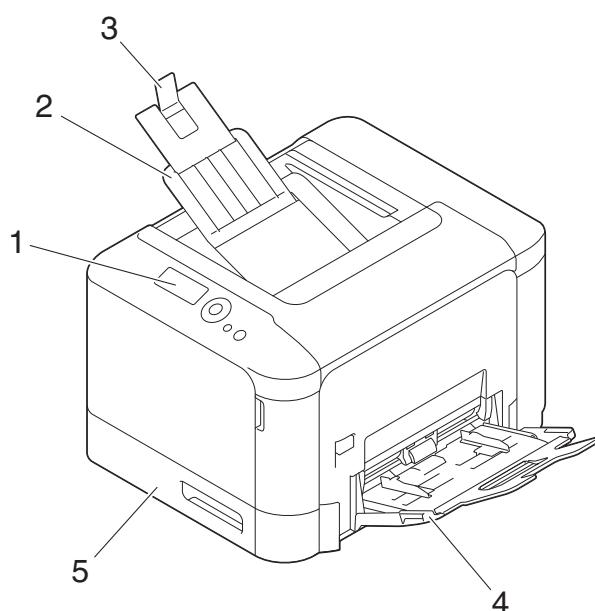
本機の概要

2 本機の概要

2.1 本機について

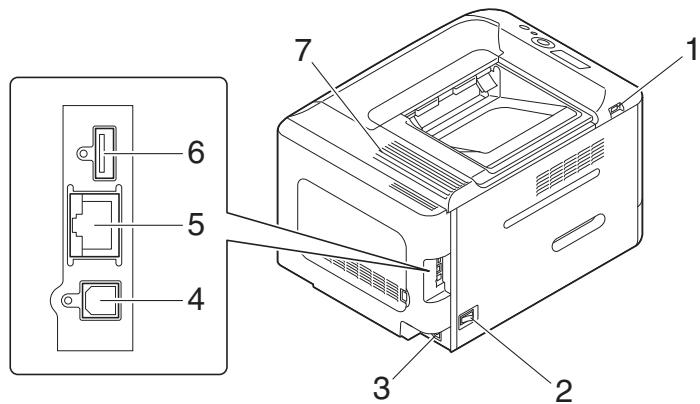
2.1.1 各部の名前

前面



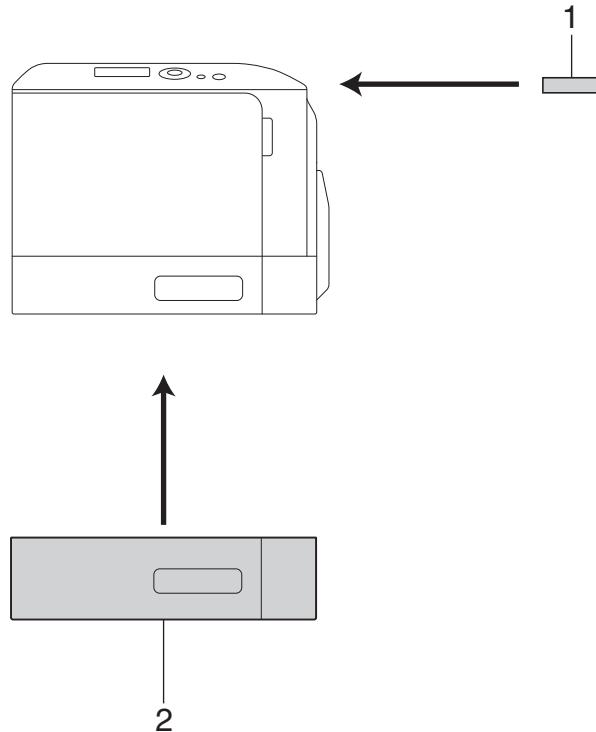
No.	名称
1	操作パネル
2	排紙トレイ
3	排紙ストッパー
4	手差しトレイ
5	トレイ 1

背面



No.	名称
1	USB ポート (タイプ A)
2	電源スイッチ
3	電源インレット
4	USB ポート (タイプ B)
5	Ethernet ポート (LAN)(1000Base-T/100Base-TX/10Base-T)
6	USB ポート (認証装置用)
7	排気ダクト

2.1.2 オプションの構成



No.	名前	説明
1	認証装置 AU-201/AU-201S	IC カードまたは NFC 対応モバイル端末 (Android 端末) に記録された情報を読み取ってユーザー認証を行うことができます。
2	給紙ユニット PF-P14	500 枚までの用紙をセットできます。
以下のオプションは、本機に内蔵されるため図解してありません。		
3	ハードディスク HD-P06	ハードディスクの容量を大きくし、機能を拡張できます。
4	i-Option LK-106	特殊フォントの一つである、バーコードフォントを追加できます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
5	i-Option LK-107	特殊フォントの一つである、ユニコードフォントを追加できます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
6	i-Option LK-108	特殊フォントの一つである、OCR フォントを追加できます。 オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。
7	i-Option LK-111	拡張機能の一つである、ThinPrint 機能が使えます。
8	ネットワークカード NC-P03	無線ネットワーク環境で本機を使用できます。
9	取付けキット MK-P07	ネットワークカードを取付ける場合に必要です。

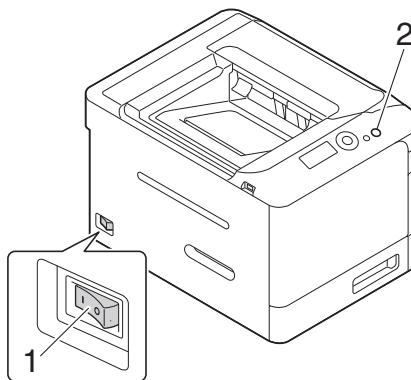


i-Option のライセンスキットの登録方法について詳しくは、[ユーザーズガイド 拡張機能編] の 2 章「ライセンスキットを登録する」をごらんください。

2.2 電源について

2.2.1 電源スイッチ／電源キーの場所

本機には、本体外部の電源スイッチと操作パネルの電源キーがあります。



No.	名前	説明
1	電源スイッチ	本機の主電源を ON/OFF したり、本機を再起動するときに操作します。
2	電源キー	本機を節電状態に切換えるときに操作します。消費電力を抑え節電効果を得られます。 詳しくは、2-6 ページをごらんください。

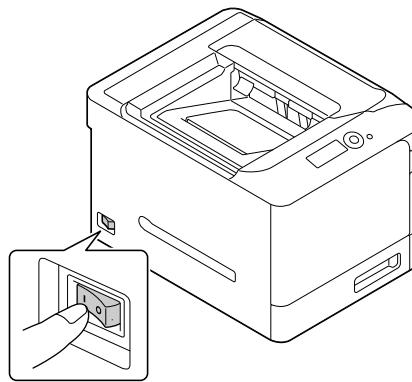
重要

本機で印刷中に電源スイッチを OFF にしたり、電源キーを押さないでください。紙づまりの原因となります。

本機の動作中に電源スイッチを OFF にしたり、電源キーを押したりすると、読み込み中のデータや通信中のデータ、待機中のジョブは削除されます。

2.2.2 電源スイッチを ON/OFF する

- 1 電源ケーブルを本機に接続します。
- 2 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- 3 主電源を ON にするときは、電源スイッチの | を押します。



起動中を表す画面が表示されます。

メッセージウィンドウに [印刷可] と表示されたら、本機をお使いいただけます。

- 4 主電源を OFF にするときは、電源スイッチの ○ を押します。

重要

本機を再起動するときは、電源スイッチを OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

2.2.3 電源キーを使う

電源キーは、本機を節電状態に切換えるときに操作します。

電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。

電源キー	本機の状態	LED の状態	印刷	説明
短押し	スリープ	点滅：青色	可能	メッセージウィンドウのバックライトを消し、消費電力を抑えます。メッセージウィンドウ上部のインジケーターは青色に点灯します。 プリントジョブを受信すると、スリープ状態を継続したまま印刷します。 操作パネルを操作したり、プリントジョブを受信したりすると、通常モードに復帰します。
	ディープスリープ	点滅：青色	可能	スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態です。 メッセージウィンドウの表示を完全に消します。 プリントジョブを受信すると、スリープ状態に移行して印刷を行い、その後ディープスリープ状態に戻ります。 通常モードへ復帰するまでの時間は、スリープ状態から復帰するよりも長くなります。 ディープスリープ状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押します。
長押し	ErP オートパワー OFF	点滅：オレンジ色	不可能	ディープスリープよりも高い節電効果を得られ、主電源を OFF にしたときに近い状態となります。 ErP オートパワー OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押します。

参考

出荷時の設定でお使いの場合、本機をスリープ状態に切換えると、スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態（ディープスリープ状態）へ自動的に移行します。

ただし、以下の条件を満たしている場合、ディープスリープ状態への移行はできません。

- オプションの i-Option LK-111 を導入し、ThinPrint 機能を設定している場合
- オプションの認証装置を接続している場合



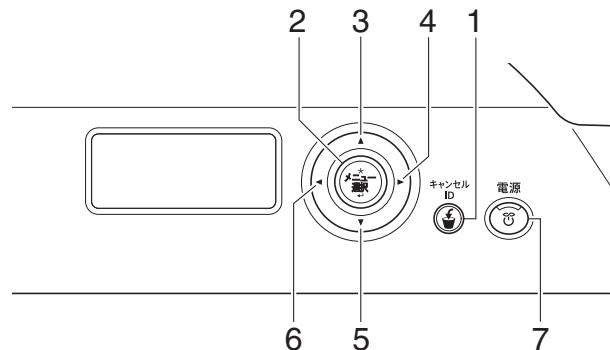
関連設定 (管理者向け)

本機がスリープ状態のときに、スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態（ディープスリープ状態）への移行を行うかどうかを選べます。

設定するには：メニュー / 選択 - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [スリープ中の消費電力]（初期値：[抑制する]）

2.3 操作パネルについて

本機上部にある操作パネルでは、直接本機の操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウには本機の状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。



No.	キー	説明
1	キャンセル ID 	<ul style="list-style-type: none"> 表示中のメニューや設定変更を取り消します。 ユーザー認証を導入し、登録ユーザーでログインしている場合、トップ画面で長押しをするとログアウトできます。 ジョブを削除できます。詳しくは、2-9 ページをごらんください。 <p>【ひとこと】 本文中ではキャンセル /ID と呼びます。</p>
2	＊ メニュー 選択 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューを表示します。 選択した項目を決定します。 <p>【ひとこと】 本文中ではメニュー / 選択と呼びます。</p>
3		<ul style="list-style-type: none"> カーソルを上に移動します。 設定項目の入力画面では、数値を大きくしたり、アルファベット順の次の文字を表示したりできます。
4		カーソルを右に移動します。
5		<ul style="list-style-type: none"> カーソルを下に移動します。 設定項目の入力画面では、数値を小さくしたり、アルファベット順の前の文字を表示したりできます。
6		カーソルを左に移動します。
7	電源 	本機を節電状態に切換えたり、節電状態から復帰したりすることができます。 電源キーの使い方について詳しくは、2-7 ページをごらんください。

ジョブを削除する

本機にプリントジョブがある場合、キャンセル /ID を押すと、以下のメニューを表示します。実行中のジョブを削除したり、待機中の全てのジョブを削除したりできます。

項目	説明
[継続]	ジョブを削除せず、印刷を続行します。
[実行中ジョブ]	実行中のジョブを削除します。
[全てのジョブ]	全てのジョブを削除します。



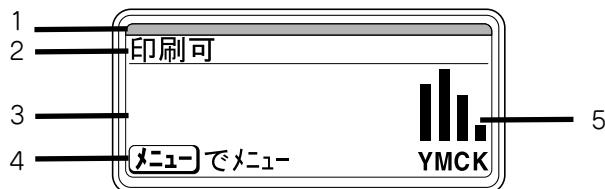
参考

ユーザー認証を導入している場合に待機中の全てのジョブを削除するときは、ログイン画面でキャンセル /ID を押したあと、管理者パスワードの入力が必要です。

2.4 画面の構成

2.4.1 メッセージウィンドウの表示について

本機はメッセージウィンドウでプリンターの状態や、およそのトナー残量、エラーメッセージなどを確認できます。



No.	説明
1	メッセージウィンドウ内上部で、赤または青のインジケーターが点灯／点滅してプリンターの現在の状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷可：青のインジケーターが点灯します。 印刷中：青のインジケーターが点滅します。 エラー：赤のインジケーターが点灯します。
2	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの現在の状態が表示されます。 エラー時、サービスコール時には、⚠️アイコンとエラーの状態が表示されます。 警告時には⚠️アイコンが表示されます。 USBメモリーをUSBポートに接続すると、✉️アイコンが表示されます。 コンピューターからプリントジョブを受信中は✉️アイコンが、USBメモリーからプリントジョブを受信中は⚠️アイコンが表示されます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 警告などのメッセージが表示されます。 プリントジョブ受信中の場合、ユーザー名と印刷の進捗状況が表示されます。 ファームウェアのアップデート時は、アップデートしているファームウェアの種類と、アップデートの進捗状況が表示されます。
4	キー操作のガイダンスが表示されます。
5	およそのトナーの残量が表示されます。

2.4.2 ヘルプ画面について

紙づまりなどのエラーが発生した時に▽キーを押すと、エラーを処理するためのヘルプ画面が表示されます。

3

用紙のセット方法

3 用紙のセット方法

3.1 用紙について

3.1.1 対応する用紙の種類を確認する

用紙種類	用紙坪量	用紙容量
普通紙 再生紙 両面不可紙 ^{*1} 特殊紙 ^{*2}	60 g/m ² ~ 90 g/m ²	手差しトレイ：100 枚 トレイ 1：250 枚
厚紙 1	91 g/m ² ~ 150 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
厚紙 2	151 g/m ² ~ 210 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
光沢紙 1	100 g/m ² ~ 128 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
光沢紙 2	129 g/m ² ~ 158 g/m ²	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
はがき	—	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
封筒	—	手差しトレイ：10 枚
ラベル紙	—	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚
レターヘッド紙 ^{*3}	—	手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚

^{*1} 両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）。

^{*2} 上質紙などの特別な用紙。

^{*3} あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙。

重要

普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに専用紙をセットした場合、用紙の種類を正しく設定してください。正しく設定しないと、紙づまりや画像不良の原因となります。



参考

本機の【レターヘッド両面印刷】で、レターヘッド紙への両面印刷を許可するかどうかを設定できます（初期値：[禁止]）。レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、用紙種類が普通紙のレターヘッド紙を使用してください。

3.1.2 対応する用紙サイズを確認する

給紙口	通紙可能サイズ
手差しトレイ	A4、A5、A6、B5 (JIS)、B6 リーガル (8-1/2 × 14)、レター (8-1/2 × 11)、SP Folio (8-1/2 × 12-11/16)、エグゼクティブ (7-1/4 × 10-1/2)、Statement/Invoice (5-1/2 × 8-1/2) Foolscap (8 × 13)、8-1/8 × 13-1/4、Folio (8-1/4 × 13)、G. リーガル (8-1/2 × 13)、8-1/2 × 13-1/2、16K、Kai 16、Kai 32 はがき (100 mm × 148 mm)、往復はがき (148 mm × 200 mm) Photo Size 10 × 15 封筒 #10、洋形 6 号、封筒 DL、洋形 2 号、長形 3 号、長形 4 号 B5 (ISO)、UK Quarto (8 × 10)、G. レター (8 × 10-1/2) 幅: 92 mm ~ 215.9 mm、長さ: 148 mm ~ 355.6 mm
トレイ 1	A4、A5、A6、B5 (JIS)、B6 レター (8-1/2 × 11)、エグゼクティブ (7-1/4 × 10-1/2)、 Statement/Invoice (5-1/2 × 8-1/2) 16K、Kai 16、Kai 32、はがき (100 mm × 148 mm)、往復はがき (148 mm × 200 mm) Photo Size 10 × 15 UK Quarto (8 × 10)、G. レター (8 × 10-1/2) 幅: 92 mm ~ 215.9 mm、長さ: 148 mm ~ 297 mm



参考

- すべての用紙サイズで、プリント時は用紙の端から 4.2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。
- 封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面）の封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。
- ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためにには、不定形サイズ設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。
- 不定形サイズは上の表の数値の範囲でプリンタードライバーから設定してください。
- トレイ 1 で不定形サイズ用紙を使用する場合、幅が 210 mm を超え、長さが 279 mm を超える用紙は、トレイの構造上、用紙後端がたわんだ状態でセットされます。（最大長さ 297 mm）これらの不定形サイズ用紙をご利用になる場合は、手差しトレイを使用するか、トレイ 1 で 100 枚以内の枚数で使用してください。
- Mac OS X をお使いの場合、両面印刷可能な手差しトレイの最大サイズは、幅が 216 mm、長さが 355 mm となります。

3.1.3 使用上のご注意

使用できない用紙

以下のような用紙はセットしないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、アイロンプリント紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙
- 表と裏で紙質（粗さ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

用紙の保管のしかた

用紙を保管するときは、以下の点にご注意ください。

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下ののような場所・環境に置かないでください。
 - 湿気が多い場所
 - 直射日光があたる場所
 - 高温の場所（35 °C以上の場所）
 - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。



参考

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

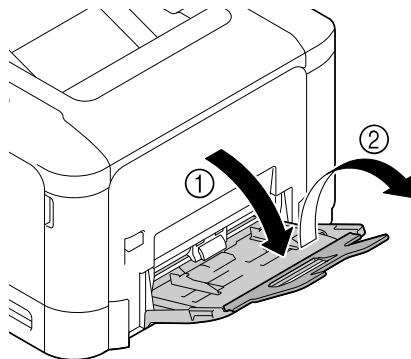
3.2 手差しトレイにセットする

他の給紙トレイにセットされていないサイズの用紙に印刷したいときに、手差しトレイを使います。

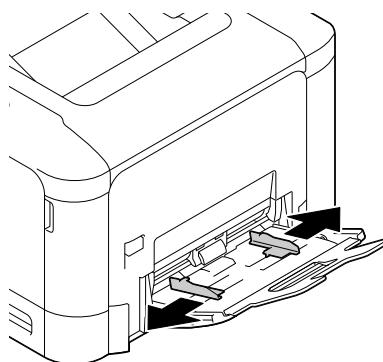
手差しトレイを使う場合は、用紙のセットと、用紙種類の設定が必要です。

- ✓ 対応する用紙の種類とサイズについて詳しくは、3-2 ページをごらんください。

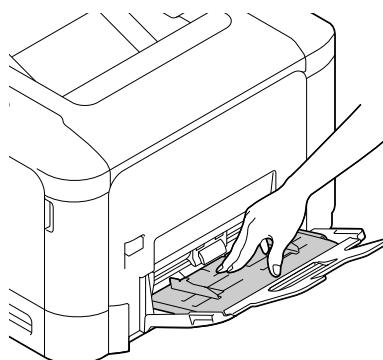
1 手差しトレイを開きます。



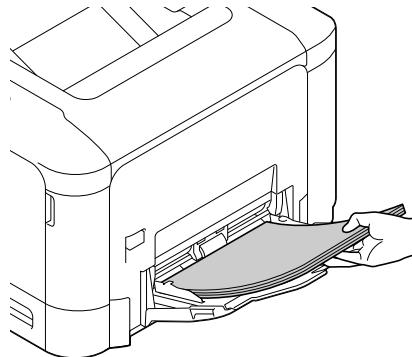
2 用紙ガイドを広げます。



3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。



- 4 印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。
 - レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を下向きにしてセットしてください。
 - 本機の【レターヘッド両面印刷】で、レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文のある面を上向きにしてセットしてください。



重要

用紙は上限を示すガイドを超えないようにセットしてください。

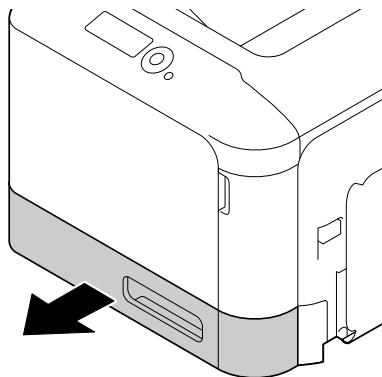
用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。

- 5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。
- 6 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。また、不定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズも指定します。
 - 設定するには：メニュー / 選択 - [用紙メニュー] - [給紙トレイ] - [手差し]

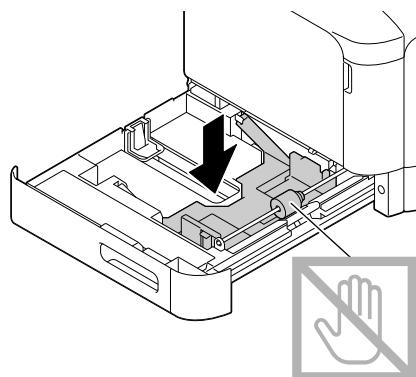
3.3 トレイ 1 にセットする

- ✓ 対応する用紙の種類とサイズについて詳しくは、3-2 ページをごらんください。
- ✓ トレイ 2 は、オプションの給紙ユニットを装着している場合に利用できます。トレイ 2 に用紙をセットする方法について詳しくは、[ユーザーズガイドはじめにお読みください] の5章「用紙をセットする」をごらんください。

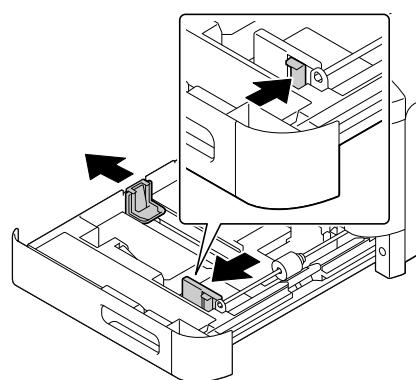
1 トレイ 1 を引出します。



2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

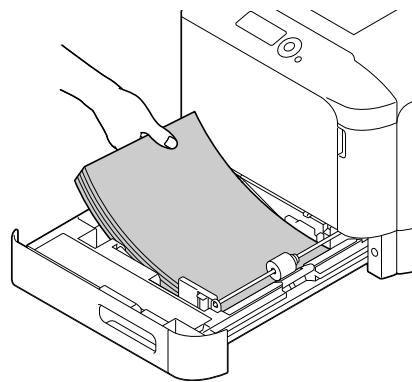


3 用紙ガイドを広げます。



4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

- はがき、往復はがきは、短辺（長さの短い方）をトレイの右側へ向けてセットします。
- レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を上向きにしてセットしてください。
- 本機の【レターヘッド両面印刷】で、レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文のある面を下向きにしてセットしてください。

**重要**

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。

5 用紙サイズに用紙ガイドを合わせます。**6** トレイ 1 を閉じます。**7** 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。また、不定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズも指定します。

→ 設定するには：メニュー / 選択 - [用紙メニュー] - [給紙トレイ] - [トレイ 1]

4

本機の初期設定

4 本機の初期設定

4.1 ネットワーク接続の準備（管理者向け）

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、ネットワークに接続された LAN ケーブルが接続されていることを確認します。ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。

IP アドレスを割当てる

本機に固定の IP アドレスを用意している場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスを、手動で入力します。

操作パネルのメニュー / 選択 - [管理者設定] - [エキスパート調整] - [イーサネット] - [TCP/IP 設定] - [IPv4 設定] で、次の設定をします。

設定	説明
[IP アドレス]	IP アドレスを手動設定する場合に、本機に用意した固定 IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	IP アドレスを手動設定する場合に、サブネットマスクを入力します。
[ゲートウェイ]	IP アドレスを手動設定する場合に、デフォルトゲートウェイを入力します。
[IP アプリケーション]	IP アドレスを自動設定する場合に、自動取得の方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">【DHCP】：初期値は【オン】です。【BOOTP】：初期値は【オフ】です。【ARP/PING】：初期値は【オフ】です。【AUTO IP 設定】：【有効】固定です。



参考

本機に割当てられた IP アドレスを確認するときは、設定リストを印刷します。設定リストは、メニュー / 選択 - [レポート出力] - [設定リスト] から印刷できます。

4.2 ハードディスク (HDD) の設定 (管理者向け)

本機のHDDに保存されるデータを暗号化して保護したい場合は、HDDの暗号化の設定を行います。

HDDの暗号化の設定を行うとHDDのフォーマットが行われるため、HDD内に保存されているデータが消去されます。そのため、本機をお使いになる前に、HDDの暗号化の設定を済ませておくことをおすすめします。

設定するには：メニュー / 選択 - [管理者設定] - [環境設定] - [セキュリティ設定] - [HDD 暗号化]



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

5

基本的な使い方

5 基本的な使い方

5.1 プリント機能を使う (Windows 環境の場合)

本書では、Windows 環境で印刷するための設定方法を説明します。



Mac OS 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の 3 章「Mac OS 環境で印刷する」をごらんください。

Linux 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 5 章「Linux 環境で印刷する」をごらんください。

5.1.1 プリンタードライバーについて

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	説明
PCL ドライバー	PCL6	オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。3つのドライバーの中でもっとも速く印刷できます。
PS ドライバー	PostScript 3 Emulation	AdobeなどのPS対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。
XPS ドライバー	XPS	Windows Vista 以降に登場した XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーです。半透明が高品質に再現できるなどのメリットがあります。

5.1.2 印刷の準備 (ネットワーク接続)

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。

ネットワーク設定を確認する

設定リストを印刷し、本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。

設定リストは、メニュー / 選択 - [レポート出力] - [設定リスト] から印刷します。



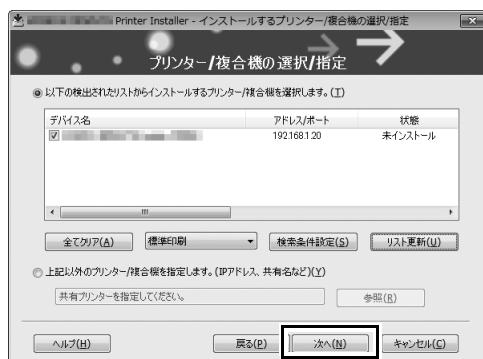
IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、4-2 ページをごらんください。

プリンタードライバーをインストールする

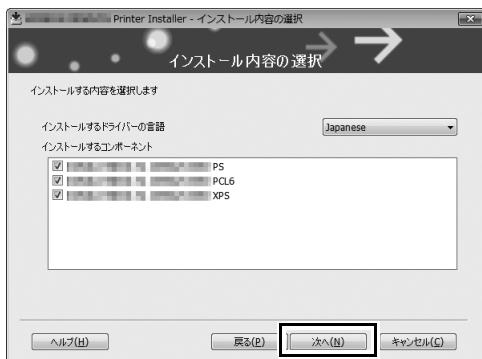
インストーラーを使って、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM を使います。

- 1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 2 [プリンター] をクリックします。
- 3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 4 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 5 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
接続されているプリンターが検出されます。
 - Windows Vista/7/8/8.1/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[IPv4 優先] / [IPv6 優先] を選べます。IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。
- 6 本機を選び、[次へ] をクリックします。
 - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
 - 印刷方法は、管理者から特に指定がない場合は、[標準印刷] (Port 9100) から変更する必要はありません。本書では、[標準印刷] (Port 9100) の設定方法を説明します。
 - 印刷方法は、[標準印刷] のほか、[インターネット印刷] (IPP) や [セキュリティ印刷] (IPPS) を選べます。印刷方法について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の 2 章「Windows 環境で印刷する」をごらんください。
 - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
 - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[上記以外のプリンター / 複合機を指定します。 (IP アドレス、共有名など)] を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 7 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 → 各プリンタードライバーの特長については、5-2 ページをごらんください。



- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
 以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。
 詳しくは、5-8 ページをごらんください。

5.1.3 印刷の準備 (USB 接続)

インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2)

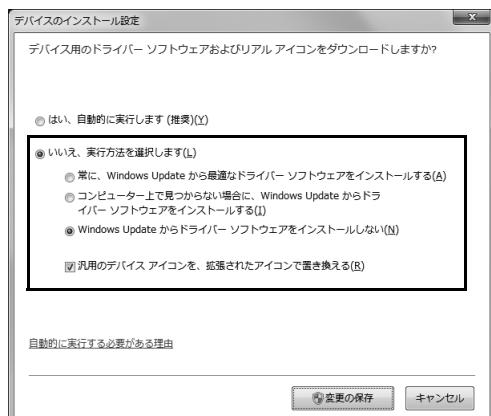
Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、コンピューターの設定を変更します。

- 1 [コントロール パネル] ウィンドウを開きます。
 - Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [↓] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] - [システム] をクリックします。
- 3 左側のメニューにある [システムの詳細設定] をクリックします。

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブの [デバイスのインストール設定] をクリックします。



- 5 [いいえ、実行方法を選択します] を選んでから [Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない] を選び、[変更の保存] をクリックします。
 - プリンタードライバーのインストール後は、[はい、自動的に実行します (推奨)] に戻してください。



- 6 [OK] をクリックし、[システムのプロパティ] 画面を閉じます。

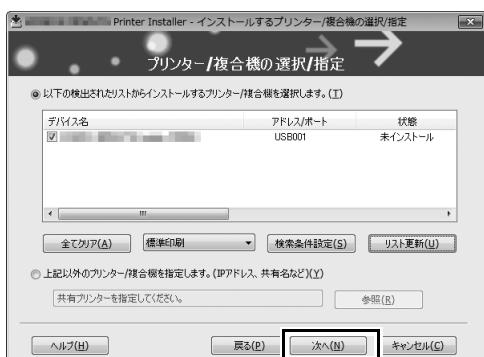
プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、お使いのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM を使います。

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
 - ケーブルの接続箇所について詳しくは、2-3 ページをごらんください。
 - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- 2 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 [プリンター] をクリックします。
- 4 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 5 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 6 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。

USB 接続されているプリンターが検出されます。
- 7 本機を選び、[次へ] をクリックします。



- 8 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 - 各プリンタードライバーの特長については、5-2 ページをごらんください。



- 9 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

10 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

設定	説明
[内容確認]	インストール内容を確認できます。
[プリンター名の変更]	必要に応じて、本機の名前を変更します。
[プリンタープロパティ]	本機のオプション環境などの設定をします。
[印刷設定]	必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。
[テストページ印刷]	正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。



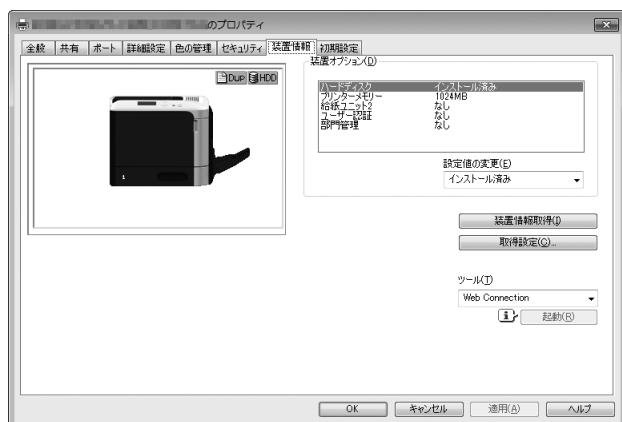
プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、5-8 ページをごらんください。

5.1.4 プリンタードライバーの初期設定

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーに設定します。

- 1 プリンターのウィンドウを表示します。
 - Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [④] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] - [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
 - Windows Server 2003 の場合は、スタートメニューから [プリンタと FAX] をクリックします。
 - 2 プリンターのプロパティを開きます。
 - Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から、表示されるプリンタ名をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。

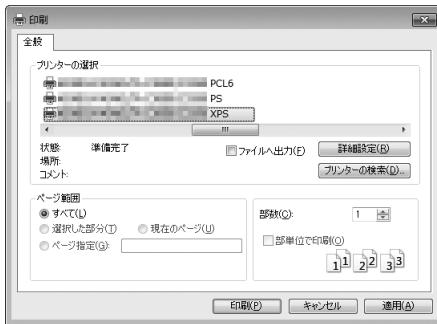
[プロパティ] 画面が表示されます。
 - 3 [装置情報] タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを設定します。
 - 初期設定では、[取得設定 ...] の [自動取得] が有効になっていますので、自動的に本機の情報が取得され、[装置オプション] に反映されます。
 - [取得設定 ...] の [自動取得] を無効にしている場合は、[装置情報取得] をクリックすると、本機の情報を取得して [装置オプション] に反映します。
 - 本機と通信できない場合や、Windows Server 2003 環境で USB 接続してお使いの場合は、[装置オプション] から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。



- #### 4 「OK」をクリックします。

5.1.5 印刷のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。
→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



- 3 印刷するページ範囲や部数を指定します。
- 4 必要に応じて、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの印刷設定を変更します。
→ ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態 (初期値) に戻ります。
→ プリンタードライバーの印刷設定について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の2章 「Windows 環境で印刷する」をごらんください。
- 5 [印刷] をクリックします。
印刷が実行されます。

5.2 USB メモリー内のファイルを印刷する



オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

対応する USB メモリー

本機に接続できる USB メモリーの仕様は次のとおりです。

項目	仕様
対応メディア	USB メモリー (USB2.0 対応)
ファイルシステム	FAT32
ファイル形式	PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML (.docx/.xlsx/.pptx)、PPML (.ppml/.vdx/.zip)



本機に USB メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

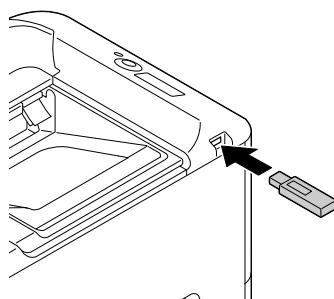
- 操作パネル近くの側面にある USB コネクターを使用してください。
- USB メモリー内のファイルの印刷中には、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリー以外の USB 機器 (ハードディスク、USB ハブなど) は使用しないでください。
- 本機の起動中に USB メモリーの抜き差しを行わないでください。
- USB メモリーを差込んだ直後に抜かないでください。



暗号化された PDF ファイルは印刷できません。

印刷のしかた

- 1 本機に USB メモリーを接続します。



メッセージウィンドウの右上に が表示され、外部メモリーのメニューが表示されます。

- 2 本機に USB メモリーを接続します。
- 3 [ファイル一覧] を選びます。
→ JPEG、TIFF ファイルを表示する場合は、[ファイルの種類] で [全て] を選びます。
- 4 印刷したいファイルを選びます。
→ 印刷したいファイルがフォルダー内にある場合は、フォルダーを選びます。
→ フォルダーとファイルを合わせて、99 個まで表示できます。
→ 8 階層以上のフォルダーは、表示できません。
- 5 必要に応じて、用紙サイズ、両面印刷、印刷部数、部単位印刷の設定を変更します。
- 6 [印刷] を選びます。

6 索引



6 索引

U

USB メモリー	5-10
印刷のしかた	5-10

あ行

オプション構成	2-4
---------------	-----

か行

各部の名前	2-2
前面	2-2
背面	2-3
画面の構成	2-10

さ行

準備

印刷 (USB 接続)	5-5
印刷 (ネットワーク接続)	5-2
ネットワーク設定	4-2
操作パネル	2-8

た行

手差しトレイ	3-5
電源	2-5
電源キー	2-7
電源スイッチ	2-6
トレイ 1	3-7

な行

ネットワーク設定	4-2
----------------	-----

は行

プリンタードライバー	5-2
インストール (USB 接続)	5-5
インストール (ネットワーク接続)	5-2
初期設定	5-8
プリント機能	5-2
印刷のしかた	5-9

や行

ユーザーズガイド	1-2
----------------	-----

用紙

使用できない用紙	3-4
対応用紙サイズ	3-3
対応用紙種類	3-2
保管のしかた	3-4

用紙のセット

手差しトレイ	3-5
トレイ 1	3-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039 (受付時間：土、日、祝日を除く9:00~12:00 / 13:00~17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社